

# 経営理念と目指す西原のシナリオ

## 経営理念

- 水の活用を通じて社会に貢献する（社会貢献活動）
- 良心的で行き届いた仕事をする（お客様への思い）
- 積極的で堅実な経営とする（経営者の決意）
- 活力に満ちた集団とする（会社のあり方）

## 人を大切にする西原

### お客様満足創造企業を目指す

（お客様満足度 No1）

私達 西原衛生工業所は、社会から選ばれ、必要とされる企業であり続けるために、お客様満足創造企業を目指し、社会の発展に貢献する。

### 我々が目指す西原

（社員満足度 No1）

明るくて、風通しのよい楽しくて、やりがいのある元気で、活力のある会社

我々の目指す西原

## ステークホルダー（利害関係者）に使命と責任を果たす

お客様	地域社会	株主	社員	関係取引先・グループ会社
お客様の満足度を、お客様の視点で高め、質の高い設備とサービスを提供する。	水の活用を通じて、より安全で安心な設備を提供すると共に、環境保護を追求する。	業績基盤を盤石にし、企業価値を高める。	一人ひとりが自信と誇りを持ち、働く喜びを実感できる風土・文化をつくり、社員が仕事を通じて自分の成長を実感でき、家族とともに幸せを、喜び合える会社とする。	仕事を通じて、お互いが良かったと思える至誠惻怛を基礎とした、パートナーシップを築く。 ※至誠惻怛・・・（しせいそくだつ） 誠意と思いやりを持ち、尽くす思い。

## 基本戦略

選択と集中	水の活用（給排水衛生設備工事）を通じて
差別化	お客様の満足度 [安全・品質・コスト・サービス・スピード（工期・納期）・環境保護] を、お客様の視点（満足・便利・具合良い）で高め、高付加価値な設備とサービスを提供し、西原ブランドを高める。
競争力の優位性	コスト競争力 [ムダを除き、失敗コストを出さない原価管理体制、ローコスト体質] を構築し、中期経営計画を全員参加でやり遂げる。
満足度	お客様満足度No1 社員満足度No1 を目指す。

## 経営方針

(1)安全はすべてに最優先	事故、災害は「絶対に起こさない」「起こさせない」の決意のもと、限りなく危険ゼロの作業環境をつくる。
(2)品質の確保	お客様の満足度 [安全・品質・コスト・サービス・スピード（工期・納期）・環境保護] を、お客様の視点（満足・便利・具合良い）で高め、高付加価値な設備とサービスを提供し、西原ブランドを高める。
(3)受注目標の必達	戦略とあらゆる戦術を駆使して、お客様の新規開拓と維持深耕を図り、受注目標を必達する。
(4)利益の確保	全員が原価管理の仕組みを有効に機能させ、目標利益を確保する。
(5)人材の育成	社員一人ひとりが大事な財産であり、OJT教育を強力に推進し、自主自律的に問題を見つけ、解決できる人材を育てる。
(6)三現主義とコミュニケーションの活発化	目標達成のために三現主義（現地、現物、現実をしっかりと把握して）と方向性のコミュニケーションを必死に繰り返し、知恵を絞る。

## 共通認識（信条 風土 文化とする）

(1)現場こそ価値創出の原点	現場は経営の屋台骨であり、現場の力そのものが競争力そのものである。その現場を支えているのが、一人ひとりが考え、創意工夫し、やり抜く力であり、現場のチーム力である
(2)高い誇りと当事者意識をもつ	西原の社員であることに自信と誇りを持ち、トップから第一線に至る一人ひとりが率先垂範を旨とし、お互いが決めたこと、約束したことは必ずやり遂げ、指示のしっぱなし、やりっぱなしは責任感の欠如と認識する。
(3)見える化運動の定着と失敗コスト防止・撲滅運動の展開	見える化推進10ヶ条（自主自律的に問題を見つけ解決する）を定着させ、失敗コスト防止10ヶ条を強力に展開する。
(4)無関心は諸悪の根源	三無状態（無知、無視、無関心）を排除し、方向性のコミュニケーションを活発化する。
(5)挨拶の励行と5S運動の展開	挨拶の励行と5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）運動の展開が社員の質を高め、お客様満足創造企業へ繋がる。
(6)経営の軸足は損益分岐工事総利益	損益分岐工事総利益の確保が経営上、最低限の条件であり、自分の役割と責任を果たす。
(7)徹底	「徹底」とは、全員が当事者意識を持って、これでもか！ これでもか！ 更にもう一回これでもか！ の精神で、できるまでやり続けることである。

## 強い西原（組織が目的・目標に対し機能的に動く統一体であり 考える集団である）

### 強くする条件

- 西原の社員であることに自信と誇りを持ち、西原ブランドを高めるための志と、違いへのこだわりを持つ。
- 高い目的意識、目標意識、当事者意識とやる気を持つ。
  - 高い目的意識とは お客様満足度を高めるために、経営理念、目指す西原、基本戦略、経営方針、共通認識を全員が共有する。
  - 高い目標意識とは 定性目標、数値目標を達成するために、努力し続ける強い意志。
  - 当事者意識とは 結果を出すのは自分だという強い責任感。
- 役割責任と自部門の利益責任を持ち、そのための権限委譲がなされていて、自主自律（立）の独立採算経営をおこなう。
- 責任を果たし、成果を上げた者、努力した者が報われ、評価される経営環境を整備する。

### 4つの文化の定着

- 情報を共有する文化・・・  
会社の方針、その他情報が現場の第一線まで周知徹底し共有する。
- 学び活かす文化・・・  
共有した情報、問題、課題を解決するための知恵を絞る場があり、そこから学び現場に活かす。
- 守る文化・・・  
社会のルール、会社のルール、現場のルールを守る。
- 改善を重ねる文化・・・  
いかなる環境の変化にも臨機応変に対応し、改善に改善を重ねる。

### コンプライアンス（法令遵守・社会倫理遵守）の取り組み

- 会社法に定める内部統制を構築する
- 事業活動に関わる法令遵守
  - 業務の有効性、および効率性を高める
  - 財務報告の信頼性
  - 資産の有効かつ効率的運用と保全
- を、整備・運用し、都度評価する。

### 西原行動指針の徹底

全社員が西原衛生工業所グループ行動指針を、周知徹底、共有し、守り、実行する。

## 重点経営課題への取り組み

(1)組織の活性化	全社員が目的・目標達成意識を持って問題解決にあたり、モチベーションが高まる経営環境をつくり、社員満足度No1！ を目指す。
(2)安定的な業績基盤づくり	お客様満足度No1！ をあるべき姿、ありたい姿と捉え、安定的な受注量の確保と、技術・商品・サービスの質の向上により業績基盤を盤石とする。
(3)利益体質基盤づくり	営業・工事・事務・調達・技術の各部門がそれぞれの情報を共有し、お互いに連携・協力し合い、実効性のある原価管理体制を構築して、利益体質を根づかせる。
(4)ローコスト体質	損益分岐点を下げるため、徹底的な業務改善・改革に取り組み、業務の生産性を向上させる。
(5)財務体質の強化	財務指標数値を改善し、対外的な信用力を回復させる。
(6)マネジメント力の定着	アクションプラン（PDCAAのサイクル）を展開し、マネジメント力を定着させる。